

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年5月20日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100534
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム中山
所在地	〒891-0105 鹿児島市中山町1 2 3 3番地4 (電話) 099-269-7076
自己評価作成日	平成25年3月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年3月31日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

心身穏やかな毎日を過ごしていただける様に常に家族のように寄り添い、人としての尊厳と活力の向上を大切にしています。共同生活の中で、「出来ること」「出来ないこと」を見つけ、出来ない部分をスタッフや、共に生活されている入居者様と協働しながら楽しく毎日を過ごしています。毎日の生活の中で、食事を美味しく頂くための口腔体操や、健康の維持のための定期的な病院受診の付き添い等を行っています。年間を通して季節を感じられる行事、「お花見」や「夏祭り」「餅つき」など行っています。餅つきには地域の子供達にも参加していただいたり、「クリスマス・忘年会」ではボランティアを活用したりと地域資源を活かし、ホームの生活に変化をつけ充実した生活を送れるようにスタッフ一同工夫しております。ホームの周りには田園風景が広がり、草木などの豊かな自然から四季を感じることが出来ます。近所には、交番、スーパー、クリニック、公民館があり非常に生活しやすい環境が整っています。内部研修や外部研修に参加し入居者様の急変時の対応方法や認知症介護について理解を深めております。また、災害時の避難方法等を実際に行いながら実践。職員の入れ替わりもなく、家庭的な雰囲気の中で、入居者様は生き生きと生活されております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

#### 【理念】

・事業所設立時に職員間で話し合い作られた理念は、「あなた」という言葉から始まっており、入居者を第一に考えた理念であることが理解できる。さらに理念は家族の思いや地域との交流を積極的に行なうことを挙げている。特筆すべきは理念の中に「あなたが、おいしく食べられる食事の工夫を致します。」とうたわれ、食事を楽しく食べる事の重要性や経口摂取できる喜びと、さらには、口腔衛生への配慮から歯科受診につなげる取り組みまでを積極的に支援していく体制を整えている。

#### 【入居者の思いへの配慮】

・入居者や家族の思いを把握するため、センター方式の「基本情報シート」を用いており、入居前の生活歴やかかりつけ、馴染みの関係を詳細に記載している。また、入居後も日々の生活を共にする上で感じたことや言葉にならない入居者の思い、家族からの意見や要望を「介護記録」等に記載し、朝礼や職員会議で話し合い、職員間で情報を共有し、ケアの実践に向けて取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者様と家族の思いを尊重、自立支援、食事の工夫、地域交流を中心とした理念を掲げ、毎朝唱和することと共に、実践できるように意識づけをしている。	設立時の職員で話し合われた理念で、パンフレットや玄関に掲げ、周知を図っている。朝礼時に唱和し、日々のケアの実践に心がけている。理念の他に施設目標を掲げ、年度末に理念や目標を振り返り、次年度へつなげている。次年度は「食事の工夫」を発展させ、口腔ケアの充実、訪問歯科診療の取り組みを計画している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、散歩や買い物等の外出時に交流が持てるように心がけている。	町内会に加入し、地域の文化祭等の行事に参加している。事業所の催事として「餅つき大会」があり、家族や地域の方も参加して、賑やかに楽しく利用者と交流を図った。日常では、散歩や買い物の時、出会った近隣の方とあいさつを交わしている。今後は、学生のサマーボランティアや職場体験の受入を予定している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	買い物等の外出した時、地域の方々に認知症の方への配慮をしていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に一回運営推進会議を開催し、家族や地域包括支援センター職員、民生委員に出席いただき、ホームでの活動報告、研修報告を中心に様々な話し合いを行い、意見をいただいている。	定期的開催され、地域包括センター職員、民生委員、利用者、家族の出席があり、事業所の活動、外部評価結果、研修の報告や情報交換等が行われている。地域の婦人会から掃除等のボランティアの申し出があるなど、有意義な会となっている。出席者が偏らないよう、時々日曜日に開催したり、会議内容を利用者家族に郵送するなど、事業所の工夫がみられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	毎月、地域包括支援センター、民生委員へホーム発行の新聞を郵送している。また運営推進会議へ出席してもらい、意見をいただいている。	日頃から運営推進会議や保険証の更新時などに包括支援センターや市の担当者と情報交換しており、感染対策マニュアルなど行政からの重要連絡やその他の事務連絡事項については、随時メールで情報を受け取るなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月、職員会議の際に身体拘束廃止委員会を開催し、日々のケアの振り返りを行っている。内部研修を通して職員一人ひとりが身体拘束についての理解をしている。	身体拘束廃止委員会を設け、毎月の職員会議にて必ず勉強会を実施しており、言葉による拘束を含め身体拘束をしないケアへの取り組みを徹底して行なっている。日頃から入居者の様子をしっかりと見守っており、外出しそうな様子を察知した時は、職員間で声を掛け合い、一緒に散歩に出かけるなど入居者個人に配慮した対応を心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月、職員会議の際に高齢者虐待委員会を開催し、日々のケアの中に言葉による虐待等ないか確認を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	成年後見人制度の外部研修に参加し、学ぶ機会を設けている。必要のある方がいらっしゃった場合は活用できるように支援を行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は時間をかけてゆっくりと説明を行っている。ご家族に対して、重要事項説明書及び契約書の一項目ずつ質問等ないか読み合わせし確認を取っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様、ご家族から意見、要望をもらえる体制として、出入り口への意見箱の設置、相談苦情受付者の電話番号の掲示、運営推進会議の開催を行っている。	家族会があり、その代表者や利用者・家族が出席している運営推進会議の時やケア会議の時、面会にこられた時を利用して意見や要望を聞いている。その他、玄関入り口に意見箱の設置や第三者委員をたてての相談・苦情受付担当者のお知らせを配布している。出された意見等はスタッフ回覧ノートに記載し、ミーティングで話し合い、すみやかな対応を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者との個別の面談を年2回行っており、職員の意見を代表者に伝え、反映できる体制がある。	月1回の職員会議、研修会、夕方の引継ぎの時間に職員からの意見を聞く機会を設けている。管理者は普段より何でも言って貰える雰囲気作りに留意して、個別に意見やアイデアを聞くようにしている。ただ、全体会である職員会議の出席人数が少なく、出されたアイデアをみんなで協議、発展させる場になっていない現状がある。	同系列のグループホームでの職員異動以外は離職等による職員の入れ替わりがほとんどないことから、チームワークが良く働きやすい職場であるとうかがえる。しかし、多くの意見やアイデアを出し合う機会である職員会議が少人数出席のもと伝達行為が主である現状なので、意義ある会となるようさらなる工夫を期待したい。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員一人ひとりのニーズに応えられるようなシフトの調整、資格による手当、他の介護施設での研修等、向上心や、やりがいを持つように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々が自己研鑽できるように、研修の情報提供をし、希望者には参加してもらい、内部研修で報告し実践できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>系列のグループホームの管理者と、月1回交流をする機会があり、情報交換、勉強会を行っている。病院、グループホーム、特養の方とスポーツ交流をしているスタッフもいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に家族や関係者から情報を提供していただき、本人、家族と一緒に面談、見学をしていただいている。他の入居者様とも交流していただき雰囲気味わってもらっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人、家族の意向を聞き、ケアの方向や面会の頻度等、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の必要としているサービスを見極め、往診、在宅マッサージの利用等を含めた対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事等（洗濯物たたみ、洗濯物干し、食材の下ごしらえ）を職員と一緒にし、話をしながら様々なことを教わっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来訪した際は、本人の近況の報告を行っている。運営推進会議や行事に参加していただき、共に本人を支えあっていたでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人との電話や手紙のやり取りができており、来訪の際は居室等でゆっくり談笑していただけるように支援している。	入居前にアセスメントした情報をセンター方式の「基本情報」に記載し、電話や手紙、訪問の手助けを家族と協力し合い支援している。入居後に得られた新たな情報は支援経過に詳細に記録され、介護計画に活かしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士でのトラブルがおきないように、座席の配置に気を配り、職員が間に入って会話をしたりして支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、関係が断ち切れないように、手紙のやり取りや困りごとがないかの連絡をとったり、他施設、病院へ面会に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思を伝えることができる方は、本人の意向に沿って生活していただいている。意思疎通が困難な方は、家族と職員で情報を共有し、本人が本人らしく生活ができるようにしている。	日常の何気ない会話や様子などから思いを把握するとともに把握した内容は「介護記録」や「業務日誌」に詳細に記載し、朝礼や申し送り時に職員間で話し合い情報を共有している。意思疎通の困難な方については、家族からの情報や生活歴等を参考にしながら把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等を利用し、家族や関係者から情報をもらっているが、曖昧な部分もある。本人との会話の中で、これまでの生活暦の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のサービス記録、日誌、病院受診記録をとり、現状の状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、日常生活で出た課題を本人、家族、職員で意見を出して検討し、本人の意向に沿った介護計画が作れるようにしている。	6ヶ月毎のモニタリングのほか、本人の状態に変化が見られた時や家族の要望に変化が見られた時などに随時モニタリングを行ない、現状に即した介護計画になるよう努めている。また、利用者や家族のほか、主治医や訪問リハビリの職員からの意見やアイデアも参考にしながら介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のサービス記録、日誌の活用や申し送りで情報を共有し、モニタリングに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月に一度、ミーティングを行い、入居者様個別の話し合いをしており、ニーズへの対応を検討、実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事を把握して参加したり、ホーム内外での行事でボランティアによるイベントを楽しんでいる。入居者様も一緒にできるように配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族と相談の上、かかりつけ医を決め、月一回の受診を行い、特変、不調時にはその都度受診を行い家族への連絡、報告を行っている。	入居時にかかりつけを確認し、家族と協力し合って受診を支援している。入居後も病状に応じたかかりつけを受診できるよう医師や入居者、家族らと話し合い対応している。受診の内容は「受診記録」に詳細に記録され、申し送り時等に職員間で情報を確認し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	怪我やバイタルサインの異常時には、ホーム内の看護師に指示を仰ぎ、状況に合わせて病院受診を行う等して支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療機関へホームでの身体状況の報告を行い、定期的に入院先へ面会に行き、本人との面会や病院での近況報告をもらい早期退院を目指している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族、主治医と相談を行い終末期のあり方について考えている。早い段階では本人や家族も判断でないこともある。終末期のあり方については今後も本人や家族と密に相談をし支援していく必要がある。	入居時に「重度化や終末期に向けた方針の共有と支援」において本人と家族の思いを確認するとともに事業所の対応についても説明し同意を得ている。また、入居後も本人、家族の思いの変化や事業所の対応力の変化等随時最善の方法について繰り返し話し合う体制をとっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故が起きないように日々最新の注意を払い介護に従事している。又、緊急時対応等、研修を行い実践できるよう個々でも訓練をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、年2回昼夜想定で防災訓練を行っている。ミーティングでの話し合いも行う。職員、地域住民、家族への緊急時の応援の協力を得ている。	災害マニュアルのほか、補足として地域別の防災マップもマニュアル化し職員間で確認し合っている。毎年応急手当の講習を受け、毎月のミーティング時には机上災害訓練を行なっている。年2回の防災訓練には運営推進会議のメンバーにも参加してもらっている。備蓄は事業所のほか、万が一に備え事業所近くに住む職員宅にも準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録物には本人以外はイニシャルを使用し、声かけの際は声の大きさ、内容に注意して自尊心を傷つけないように配慮している。	倫理や接遇、コミュニケーションを含む内容の研修を年1回程実施し、日々のケアに反映させている。入浴や排泄など日常における介護については、同性介護を基本とすることでプライバシーに配慮した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定しやすい環境作り、声かけの工夫を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーション等、本人のペースや希望に応じて行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	車椅子の方が多く散髪は訪問カットを利用していただき、本人と理容師とが会話できるように支援している。本人や家族の意向に沿った服装をしていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを入居者様と一緒に考え、個人の能力に応じて買出し、準備、配膳、下膳を職員と一緒にしている。	買い物から調理の下ごしらえなど一連の工程を入居者とともにこなしている。食事は入居者と職員が同席して話をしながら和やかにとっている。自家菜園で育てた野菜を食材に利用したり、行事食と一緒に作ったり、時には外食に出かけたりと、食事が楽しみなものになるよう色々工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重増加傾向にある方は食事量の配慮を行い、水分摂取量の少ない方は代替品等で補う等工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを毎食後行い、必要に応じて歯科受診、往診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時は不安やプライバシーに配慮し、さりげない声かけの中で自立にむけた支援を行っている。	日中は時間毎にトイレ誘導し夜間も数名の方のトイレ誘導を支援している。排泄チェック表は状況に応じて使用しており、現在は排便だけを記録し対応している。排泄時の支援方法については、介護計画に組み込み、職員全員で排泄支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄のチェックを毎日行い、乳製品の摂取や食事内容の工夫に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は希望に合わせて毎日可能である。入居者様一人ひとりに応じて介助や見守りを行いながら支援している。	特に入浴時間は設けておらず、入浴したい時に入浴できるよう支援しており、プライバシーに配慮して同性介助を基本としている。入浴後は保湿剤を塗布したり、ヤクルトを提供するなど水分補給にも気を配っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の個々の希望に応じて居室等で休んでいただいている。訴えることができない入居者様は、睡眠状況や疲労感を把握し個別に対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後の処方について、朝・夕の申し送り時に報告をし、職員は入居者様のカルテを参照して薬の用法、用量を理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事（洗濯物たたみ・干し、食器洗い、調理、掃除）を中心に入居者様自ら協力できるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩、行事での外出（遠足、外食、ドライブ等）を行っている。遠方への入居者様の外出希望の場合は家族に協力をいただいている。	日常的に買い物やドライブを楽しんでおり、テレビからの情報を参考に花見の計画を立てて出かけるなどしている。外出は家族にも参加、協力してもらいなど楽しく過ごす時間を共有している。外出の困難な方には母体医療機関からバスや車いす対応車を借りるなどして外出を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小額のお預かり金があり、職員と一緒に買い物に出かけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人からの電話や手紙のやり取りができており、希望に沿って本人自らも電話や手紙を書けるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感が分かるような飾りつけや、季節の花を花瓶に挿すなど工夫をしている。入居者様が居心地良く生活できるように、室温、騒音、光に注意している。</p>	<p>明るく開放的な玄関からフロアに入ると季節感のある入居者の作品や花が飾られており、スペースも広く穏やかで落ち着いた雰囲気である。事業所は交通量の多い交差点に位置していることもあり、騒音や採光に気を配るとともに加湿器を取り入れ空調にも配慮するなど、過ごしやすい環境に努めている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様個人の席があり、共用のソファや和室もあり、思い思いに過ごせるようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や、身の回りの物、仏壇等を居室に持ち込んでもらい、本人が落ち着いて過ごしていただけるように工夫している。</p>	<p>居室にはエアコンとベッド、防災カーテンが備え付けられており、入居者は自宅から持ち込んだ馴染みの品を職員と一緒に飾るなど、個人の思いや好みに配慮した居室づくりを行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりの設置やカウンターテーブルでの作業など、入居者様の身体状況に応じて、できるだけ自立した生活が送れるようにしている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者様と家族の思いを尊重、自立支援、食事の工夫、地域交流を中心とした理念を掲げ、申し送り時に唱和し実践できるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、散歩や外出を通して地域の方々との交流を深めている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の理解を深めるために交流をはかり地域の皆様との交流が行われている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回運営推進会議を開催し、家族や地域包括支援センター職員、民生委員に出席いただき、ホームでの活動報告、研修報告を中心に様々な話し合いを行い、防災訓練の実施報告を行い、安全対策を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>毎月、地域包括支援センター、民生委員へホーム発行の新聞を郵送している。また運営推進会議へ出席してもらい、意見をいただいている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月、職員会議の際に身体拘束廃止委員会を開催し、日々のケアの振り返りを行っている。内部研修を通して身体拘束にあたる事例がないか各職員から聞き取りを行い意識付けをしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎月、職員会議の際に高齢者虐待委員会を開催し、毎日のケアの中に言葉による虐待等ないか確認を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度の外部研修に参加し、学ぶ機会を設けている。必要のある方がいらっしゃったら支援をおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は時間をかけてゆっくりと説明を行いご家族に対して、重要事項説明書及び契約書の一項目ずつ質問等ないか確認を取っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様、ご家族から意見、要望をもらえる体制を整え、出入り口への意見箱の設置、相談苦情受付者の電話番号の掲示、電話での相談等運営推進会議の開催を行っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者との個別面談を年2回行っており、職員の意見や問題点を代表者に伝え、反映できる体制がある。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人ひとりの就業環境にえられるようなシフトの調整、資格による手当、他の介護施設での研修等、向上心や、やりがいを持てるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々が自己研鑽できるように、研修の情報提供をし、希望者には参加してもらい、内部研修で報告し実践できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>系列のグループホームの管理者と、月1回交流をする機会があり、情報交換、研修会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族や関係者から情報を提供していただき、本人、家族と一緒に面談、見学をしていただいている。他の入居者様とも交流していただき雰囲気も味わってもらっている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人やご家族の面会等において要望等をじっくり耳を傾け安心して過ごして頂けるように信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人やご家族が必要としているサービスを見極め、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として尊重し、家事をスタッフと行い、会話の中で様々なことを教わっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が来訪した際は、本人の近況の報告を行っている。運営推進会議や行事に参加していただき、コミュニケーションを図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人の面会の際は、居室等でゆっくり談笑して頂けるようにしている。また、ご家族や知人からの電話、手紙、贈り物が届いたり良い関係が築かれている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが落ち着く座席や場所を把握し、入居者様同士でトラブルが起きないように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、関係が断ち切れないように、他施設、病院へ面会に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思を伝えることができる方は、本人の意向に沿って生活していただいている。意思疎通が困難な方は、家族と職員で情報を共有し、本人本位の生活ができるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等を利用し、家族や関係者から情報をもらい本人との会話の中で、これまでの生活暦の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のサービス記録、日誌、病院受診記録をとり、現在の状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、日常生活で出た課題を本人、家族、職員で意見を出して検討し本人の意向に沿った介護計画が作れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のサービス記録、日誌、連絡ノートの活用で情報を共有し、モニタリングに活かしご本人の状態に沿えるよう支援している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>月に一度、ミーティングを行い、入居者様個別の話し合いをしており、ニーズへの対応を検討、実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の公民館行事や町内会行事に参加させていただき、地域の方々との交流を図っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診は家族や本人の希望を聞き、加齢に伴う様々な機能低下により受診ができない場合も、往診や訪問診療等地域の医療機関と連携を図り支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様に関わる全ての職員が、状況等細かい部分までもよく観察を行い、情報を共有して事実を報告している。看護資格をもつ職員の意見をもとめ適切な</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は行動を伴にし安心していただけるように努めている。医療連携機関とも連絡、報告を密にとり早期退院ができるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化に伴い、家族の方にも情報を蜜に提供して、家族の意向を確認しながら主治医と相談を行い、安楽な安心した生活が営まれるよう職員が一丸となり支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故が起きないように日々細心の注意を払いケアに従事している。又、緊急時対応等、研修を行い実践できるよう個々でも訓練している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防災訓練を行い災害に備えている。ミーティングでの話し合いをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>記録物には本人以外はイニシャルを使用し、声かけの際は声の大きさ、内容に注意して自尊心を傷つけないように配慮している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様同士の会話、職員との会話の中で、本人の希望、要望を聞き取り、本人のしたいことを自己決定できるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様の体調等を考慮しながら、本人の希望を尊重し、個別でのケアの実践に取り組んでいる。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>散髪は訪問カットを利用し好きな髪型や本人と理容師とが会話できるように支援している。本人や家族の意向に沿った服装をいただいている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューを入居者様と一緒に考え、買出し、準備、配膳、下膳を職員と一緒にいき、食事が楽しめるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事形態や食事量は個々に合わせて提供し、水分摂取量もチェック表を用いて、脱水にならないように対応し好みの飲食等の提供を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の口腔ケアを毎食後行い、必要に応じて歯科受診、往診を行い口腔状態や義歯の調整を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>自立可能な方は声かけ、見守り確認を行っている。介助が必要な方は排泄パターンを把握して誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取のチェックを行い、牛乳やオリゴ糖、腹部マッサージ、軽体操、散歩などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴の基本的な時間は定めているが、入居者様の希望があった際はその都度、日程、時間の調整を行っている。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>本人の意向に沿って、居室で臥床していただいたり、ソファで休んだり、畳などで休んでいる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方された薬の説明書に目を通し、理解に努めている。処方の変更になった際は様子観察を行い、医師へ報告を行っている。薬剤の副作用などにも注意している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>家事（洗濯物たたみ、洗濯物干し、食材の下ごしらえ）を職員と一緒にしている。散歩、読書、パズルゲーム、テレビ視聴等入居者様のペースで行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日課での散歩、行事での外出（遠足、外食、ドライブ等）を行っている。遠方への入居者様の外出希望の場合は家族に協力をいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小額のお預かり金があり、職員と一緒に買い物に出かけている。随時、希望に沿って使用できるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や知人からの電話や手紙のやり取りができており、希望に沿って本人自らも電話や手紙を書けるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様にも季節が感じられるような工作等の手作業をさせていただき、季節ごとに掲示物を変えて季節感を味わっていただいている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様個人の席があり、共用のソファや和室もあり、思い思いに過ごせるようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や、身の回りの物、仏壇等を居室に持ち込んでもらい、本人が落ち着いて過ごしていただけるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置やカウンターテーブルでの作業など、入居者様の身体状況に応じて、できるだけ自立した生活が送れるようにしている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない